

# 農学委員会（第21期・第3回）・食料科学委員会（第21期・第3回） 合同委員会議事要旨

日 時：平成21年7月18日（土）11：00～12：00、18：00～19：00

場 所：愛媛大学社会連携推進機構 研修室

出席者：真木（農学委員長）、山内（食料科学委員長）、磯貝、唐木、三枝、生源寺、進士、西澤、野口、林、飯塚、矢野

## 資 料

1. 公開シンポジウム「農林水産学と社会貢献」講演要旨集
2. 太陽光利用型植物工場
3. 公開シンポジウム「知能的太陽光植物工場」講演要旨集

## 議 事

### 1. 日本の展望についての報告と今後の予定

真木農学委員長から『日本の展望』のとりまとめ状況について説明があった。また、唐木副会長から『日本の展望』の報告書は最終的に20ページ程度になり、各部の報告は2ページ程度にまとめられる予定であるとの情報提供があった。農学分野としての重要課題の整理と第4次科学技術基本計画に加えるべき内容についてフリーディスカッションした。主な意見は以下の通りである。

- 地球規模のFood security（量と質）の確保
- 国際貢献・科学技術外交（とくにアジア・アフリカ）
- 国内外の人材育成
- バイオインフォマティクス、など

### 2. 委員会の今後の推進方向

委員会活動を活性化する方策として以下の意見が出された。

- 学術会議の中で農学・食料科学の会員を増やす方策を検討する必要がある。
- 3部間の会員数を揃える過程で農学系会員の増員を図る。
- 短期的には連携会員も委員会に参加することで活動を活発にする。

### 3. 2010年度の農学系夏期部会について

2010年度も今年度同様公開シンポジウムを開催する。テーマとして『遺伝子組換え植物(GMO)』がある。主催は第二部もしくは農学委員会・食料科学委員会合同委員会として東京開催を検討する。

### 4. 公開シンポジウムの実施報告

夕刻開催の合同委員会ではシンポジウム実行委員会から実施報告があった。約250名の一般参加があり、新聞記事になることなどが報告された。特に高校生など若い参加者が多かったこと、自治体関係者も多く来場いただき、市民公開シンポジウムとしての役割を十分に果たした企画であったとの意見が多く出された。